

論 説
 中小SS事業者の団体であるだけに、全石連と全国47都道府県の石油組合について政治の支援は必要不可欠である。その支援を公職選挙法や政治資金規正法などの法律に沿って訴えるのが油政連だ。今年6月、全国油政連のトップに新たに就任した西尾恒太会長は、これまでも全石連の副会長として経営部会・政策・環境部会・総務部会の各部会長を歴任。前任の森洋油政連会長とともに、関正夫全石連執行部を支えてきた。今後は新たな全石連執行部による組合員の生き残りのための活動を支えるため、一層強力な政治支援の獲得を目指す。(次回は、葛原農林漁業部会長)

漁港探訪

28年度

関東支部農林漁業委員会副委員長
卷田達央氏



焼津港は静岡県の中央部であるとともに、東京と名古屋のほぼ中間地点に位置する。国際総合水産都市づくりを目指す焼津市にとって、中核的な位置付けを果たしている。卷田油業(巻田達央社長・JX系)は遠洋漁業の大型漁船を中心とした燃料供給を手がける。現在では3隻程度。(焼津港にバージ船を持つのは当社の船だけだ)といふ。巻田油業が保有するバージ船(第五勝丸)は焼津港を支える。

漁業と日本の食文化支える



卷田油業が保有するバージ船「第五勝丸」と油槽基地

農林漁業部会委員インタビュー

第5回

過去2年の農林漁業部会特集(漁港探訪)では、全国の主な漁港を紹介する一方、全石連農林漁業部会委員の活動を通して、漁業や漁業用A重油の現状を紹介してきた。3年目の連載となる今年度も、部会委員お一人ひとりの漁業に対する思いなどを語っていた。今回もその第5回として、濱屋勝美委員(北海道)、巻田達央副委員長(関東)、米丸良行委員(九州)のお三方にご登場いただきます。

北石連海上重油委員会委員 濱屋勝美氏



2016年の北海道の漁獲量は、統計開始以来で最低となり、100万tを初めて割り込む見通しという。14年に水揚量全国3位に浮上した釧路港も15年はサンマ、サケ・マスなどの主要魚種が不漁となり前年比で数量は約12%、金額は約5%減少となった。今年は1月からのロシア200カイリ排他的経済水域内のサケ・マス流し網漁の禁漁の影響を受け、さらに厳しい状況が続いている。禁止されたサケ・マス流し網漁の代替で始めた公海でのサンマ漁も遠洋漁場に行くには中型船では辛く、時代が多かったこともあり不採算に終わった。

今年12月に山口県で開かれる日首脳会談に、釧路を含む道東漁業の未来を託せるのは、と濱屋勝美委員(北海道釧路市、釧路アボロ石油社長・出光系)は期待する。

北方領土問題が俎上に載るとみられているからだ。第2次世界大戦後に日本と旧ソ連

が調印した日ソ共同宣言が10月19日に60年を迎えた。宣言に明記された歵舞群島・色丹

島の2島返還が首脳会談の場で交渉が進む

ところと予想されている。濱屋氏は、「歵舞・色丹は抜擢、國後よりも小

石石税還付制度の「恒久措置化」を



光岱ムを信奉する濱屋氏。特に人間尊重という経営方針に共感しており、社員の家族も含めた「人が中心の会社づくり」を実践している。その例が今年度から始めて「教育手当」。貢の育てを援助しようと、高校入学から大学卒業までの子供を対象に月1万2000円を支給している。「企業責任は社員の家族にも及ぶ。これが眞の出光岱ム。昭和シェルとの合併も出光精神の阻害要因にはならない」と微笑んだ。

九州支部農業委員会委員 米丸良行氏



「合理化」と「協業化」で生き残り図る

一方で、漁業は漁業者や製茶業で増えており、地元の製茶業で期待をかけています。「シラスが減っている間に国产ウナギの価格が急騰しています。お茶もペットボトルで飲む人たちが増えていることもあり、地元の製茶業で期待をかけています。『シラスが減っては厳しい状態です』。『燃料組合活動に期待することは』。『燃料の大切さをともに、燃料價格の中にいかに多くの税金が含まれているかをもっと知つてもらう努力が必要なのではないでしょうか』」という。「考えて下さい。500円前後のペットボトルの水は100円以上します。1㍑200円数十円という価格はガソリンよりもかるかに高いではありませんか。それだけ私たちの業界は国の財政に寄与しているといふことです」と訴える。

一方で、厳しさを増すばかりの業界の中

で生き残るために、『合理化』『協業化

』が欠かせない、と強調する。

「すでに我が社では遊休地を新しい施設

として活用する取り組みに力をいれています。これまでにないような抜本的な改革を

しなければなりません」。また『協業化』

については、同業他社を含めて、例えば拠

点を相互利用するといった「垣根」を越え

た協力、協調をしなければならない、と熱

意を込める。

「自配り・気配り・心配り」が信条。時

にユーモラスな口調の中に生き残りへの決

意と温かい人柄を感じさせる。

2015年末の漁船は9540隻で、前年比で2隻減少した。これに伴ってバージ船も減少傾向で、現在稼動しているのは鹿児島港5、枕崎港1、山川港1、串木野港1、志布志港1の合計9隻という。

「漁船の減少が燃料の需要減を直撃しています。これからも回復する見込みはないのであって、石油販売業者のものではない。確認数量が減っているが、だからこそ制度を適正に運営すべき」と基本に立ち返ったうえでの「恒久措置化」を主張する。

出光興産創業者の出光佐三氏が掲げた出

い。確認数量が減っているが、だからこそ制度を適正に運営すべき」と基本に立ち返

ったうえでの「恒久措置化」を主張する。

一方では、鹿児島県は養殖業や製茶業で

は全国でも屈指の存在。これらの燃料需要

に期待をかけていますが、「シラスが減って

いる間に国产ウナギの価格が急騰してい

ます。お茶もペットボトルで飲む人たちが

も伸びるでしょう。しかし、燃料の増加に

は期待できません」と言つた。

一方では、鹿児島県は養殖業や製茶業で

は全国でも屈指の存在。これらの燃料需要

に期待をかけていますが、「シラスが減って

いる間に国产ウナギの価格が急騰してい

ます。お茶もペットボトルで飲む人たちが

も伸びるでしょう。しかし、燃料の増加に

は期待できません」と言つた。

一方では、鹿児島県は養殖業や製茶業で

は全国でも屈指の存在。これらの燃料需要

に期待をかけていますが、「シラスが減って

いる間に国产ウナギの価格が急騰してい

ます。お茶もペットボトルで飲む人たちが

も伸びるでしょう。しかし、燃料の増加に

は期待できません」と言つた。

TMC
TOMINAGA MFG CO.

“燃料供給システム”の明日に取組む

人へ。社会へ。未来へ。
～安心・安全をトータルサポート～



http://www.kyoto-tmc.co.jp



株式会社富士製作所 〒604-8493 京都市中京区西ノ京南町88
営業本部 〒075-801-8139代表 FAX(075)801-0717
仙台営業所 〒022-283-0511 FAX(022)283-8355
名古屋支店 〒052-414-1181 FAX(052)414-1180
関西支店大阪 〒06-6443-2751 FAX(06)6443-2488
広島支店 〒082-283-2428 FAX(082)283-2606
高松支店 〒087-843-7130 FAX(087)843-9139
福岡支店 〒092-651-3168 FAX(092)651-3118
事業所・代理店/全国主要39都市